

省エネ診断実施例

岐阜産業会館

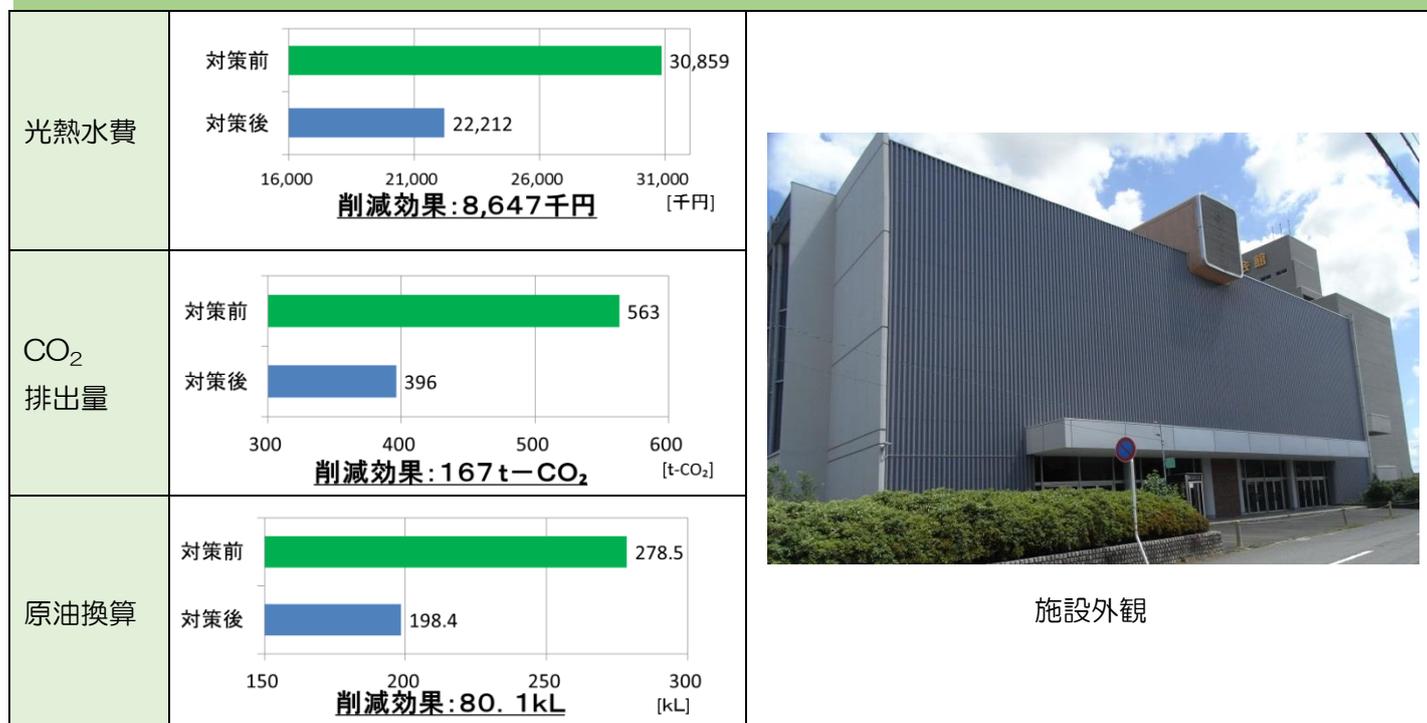
◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約 1,545 千円の光熱費(CO₂ 排出量：26.3t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 10年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約 2,044 千円の光熱費(CO₂ 排出量：34.5t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 主な改善提案（投資不要・回収10年以下の提案）

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.空調機の必要の無い（夏期の暖房、冬期の冷房）送風ファンの停止	夏期に暖房用の送風ファンを停止し、冬期に冷房用の送風ファンを停止して、電力の削減を図る。	1,337	—	—
2.ターボ冷凍機未利用期間はオイルヒーターの電源断	ターボ冷凍機のクランクケースヒーターをターボ冷凍機を使用しない期間に切ることによって電力の削減を図る。	103	—	—
3.真空ヒーターの空気比改善	燃焼用空気量を適正な量に調整することで燃料の削減を図る。	71	—	—
4.ターボ冷凍機の冷水設定温度の緩和	空調負荷の小さい中間期に冷水温度を上げることで電力の削減を図る。	34	—	—
5.蛍光灯のLED化	稼働率の高い部屋の蛍光灯をLED化することで省エネを図る。	499	3,060	6.1
	合計	2,044	3,060	—

◆ 削減効果の見込み



◆ 他にも適用できる施設例

- 送風ファンを停止する余地のある施設、空調停止期間にオイルヒーターも停止することが可能な施設
- 真空ヒーターの燃焼用空気比の最適値が未検討の施設
- 冷房設定温度を緩和する余地のある施設
- 水銀灯や蛍光灯を使用しており、LED化の余地のある施設